

(お知らせ)

IAEA(国際原子力機関)のOSART(運転安全調査団)受け入れについて

平成 15 年 8 月 14 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当社は、原子力安全・保安院に対し、原子力発電所の運転管理状況に関する国際的な評価を受けるべく、IAEA(国際原子力機関)のOSART(運転安全調査団)^{注1}派遣を要請しておりました。

昨日、原子力安全・保安院から当社に対して、IAEAが柏崎刈羽原子力発電所にOSART派遣を決定した旨の通知を受領した、との連絡がありましたのでお知らせいたします。なお、調査は来年度に実施される見込みです。

以上

注1 OSART:

IAEAが行う原子力発電所の運転管理状態レビューのサービス。

OSARTは、Operational Safety Review Team(運転安全調査団)の略。また、IAEAは、International Atomic Energy Agency(国際原子力機関)の略。国連の1組織であり、国が加盟単位。

IAEAに所属する調査員と各国から参加する専門家の合計10数名で調査団が構成され、3週間程度駐在して発電所の運転管理の状態を詳しく調査する。尚、前年に事前打合せ、翌年にフォローアップ調査が行われ、それぞれ数名が来訪する(数日間)。

OSARTの活動は、受け入れ発電所での調査や、職員と専門家との情報・意見交換などを通じ、受け入れ発電所をはじめ、世界の原子力発電所の安全向上をはかることを目的としている。